

議案第3号

聖火リレーについて

全体概要

聖火の原則

- (1) 聖火は聖火リレートーチ、ランタン、点火棒、聖火皿のみに灯る
- (2) 聖火リレー中において、聖火はひとつ
 - a. 車両不可の特殊区間や特殊走行時、セレブレーション会場での最終ランナー対応時に、聖火管理者がランタンで種火としての聖火を所持し、目に見える聖火が、2つ存在する場面がある
 - b. セレブレーション会場でトーチから聖火皿に点火後において、聖火皿とトーチのどちらにも聖火が灯っている場面がある
- (3) リレー本体隊列の聖火は「親の火」、特殊区間の特別措置を対応する聖火は「子どもの火」と呼ぶ

聖火ランナーの原則

- (1) ランナーは、各スロット1ランナーまたはグループランナーを原則とする※補助を必要とする場合の伴走者を除く
- (2) ランナー（聖火）を保護する目的でセキュリティランナーが併走
- (3) ランナーの走行管理としてフライングパーソンが併走

スロット走行の原則

- (1) トーチに聖火を灯してスロットを走行（移動）している状態をリレー走行とする
- (2) 1スロット200mを基本とし、時速6kmで走行を基本とする
- (3) トーチキスポイントでの所要時間は概ね30秒程度とする

リレー運営の基本概要

(1) 配置バスへ乗車

ランナーはコレクションポイントにて配置車両に乗車。
走行スロットへ移動する。



(2) トーチキスポイントに配置

ランナーは走行スロットにて降車。降車の際にトーチをお渡しする。



(3) フライングパーソン①と合流

ランナーはフライングパーソン①と合流。
フライングパーソン①は直前にガスボンベ開栓と燃烧部保護キャップをとる。



(4) フライングパーソン②と合流

ランナーと前スロットを併走しているフライングパーソン②と合流。



(5) トーチキス実施

ランナーはメディア車両に向けてトーチキスを行う
(30秒程度想定)
進行はフライングパーソン②が実施する。



(6) 回収バスへ乗車

ランナーは走行終了後は、回収スタッフがガスボンベを閉栓。
ランナーは回収バスに乗車する。

